

リウマチ患者さんのワクチン接種について

米国リウマチ学会は、新型コロナウイルスワクチンを接種すべきとしています。理由はリウマチの患者さんは、一般の患者さんに比べて新型コロナウイルスに感染すると重症化しやすいためです。

ワクチンの効果は、特定のリウマチの薬で効果が弱くなると考えられていますが、それでもある程度の防御効果がえられます。過去の他のワクチンのデータから、ワクチンの効果が多少劣っていても感染を防いだり、入院を必要とする肺炎などを防げる可能性があると考えられます。

ワクチンによってリウマチが再燃する可能性は理論的にはゼロではありませんが、今のところ報告はまだありません。

以下のリウマチで使うお薬については、医師と相談して下さい。

メトトレキサート 2回接種のワクチンでは、リウマチが安定している患者さんは、接種後1週間は内服を控えます。リウマチの病態がまだ弱まっていない場合には、そのまま内服を続ける場合があります。

カロナール、ロキソプロフェン、セレコックスなど 病状が安定している場合にはワクチン接種前24時間は中止、接種後は内服OKとします。

2021年7月1日 森整形外科 院長